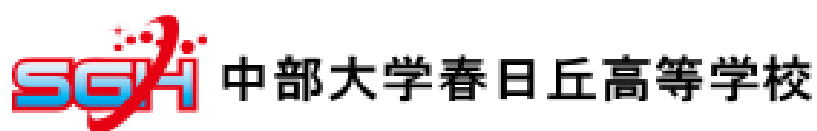
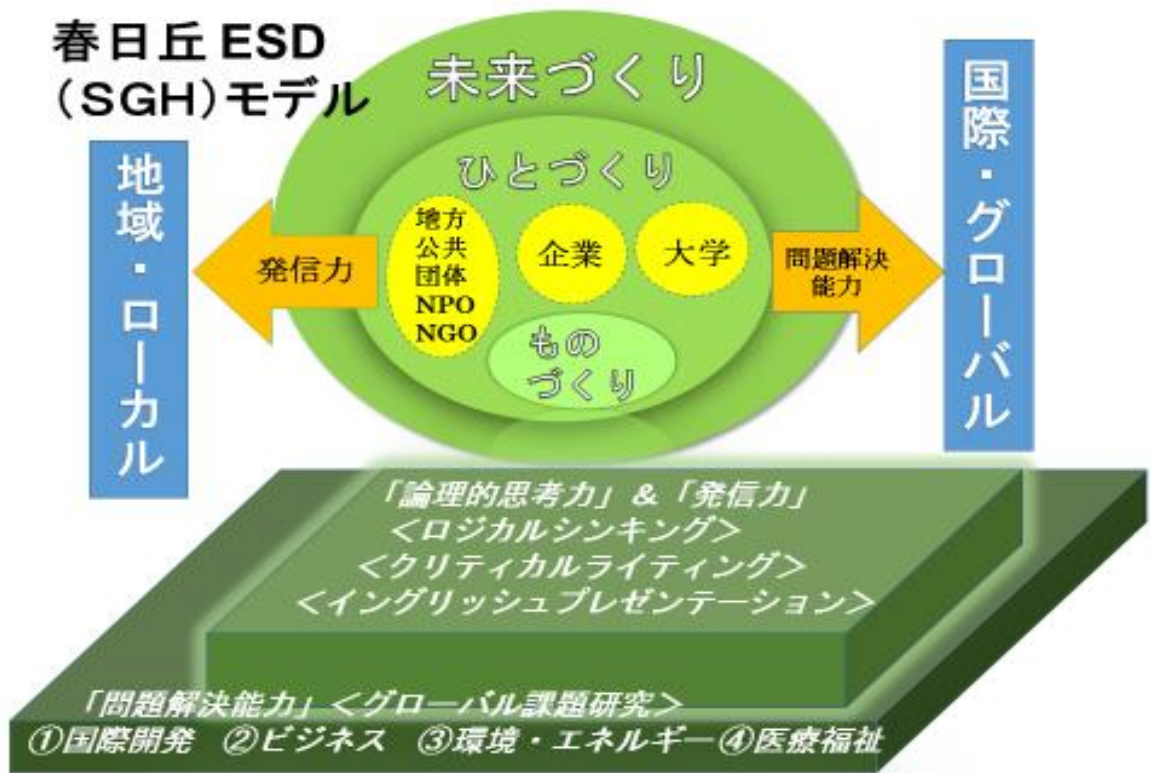


SGHと海外研修



SGH開発推進部





春日丘SGHテーマ

1 「中部圏の経済基盤を支える若きパイオニアの育成」

(1) 「問題解決能力」の育成

アジア（アセアン諸国）の社会課題における課題研究を基に、困難な問題に積極的に臨み、現状を分析して克服課題を発見し、他者と協力（協働作業）して解決できる力を育成する。

(2) 「発信力」の育成

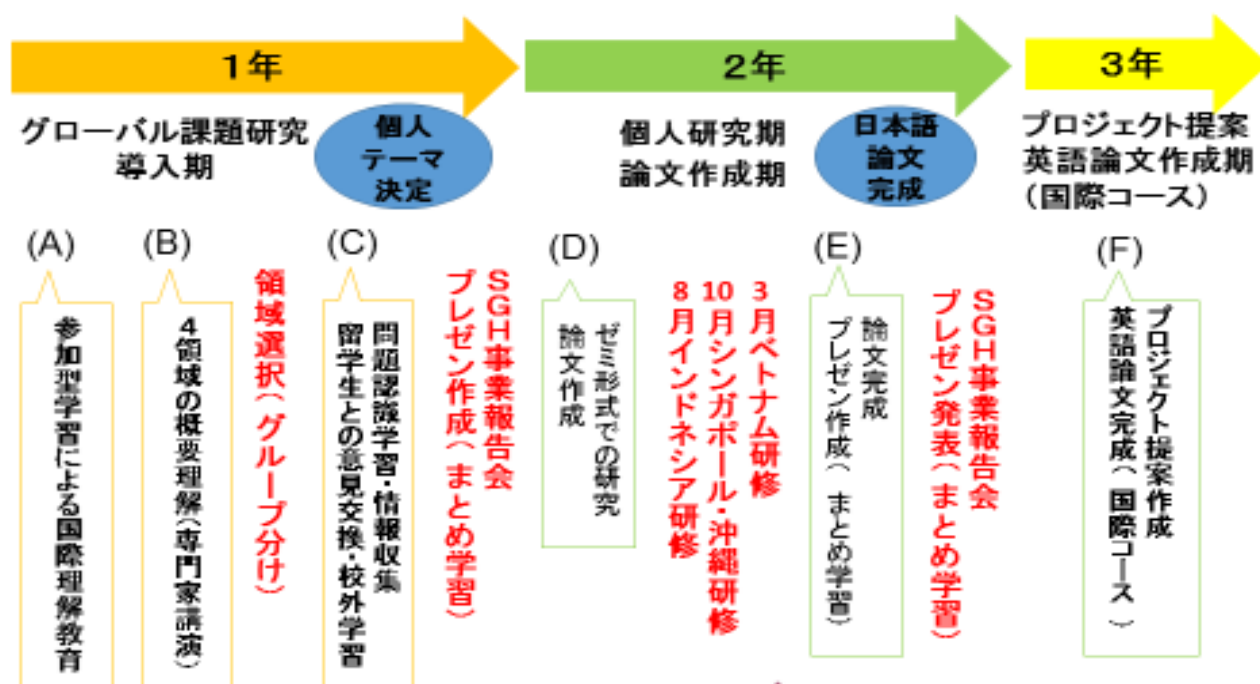
論理的思考力・表現力を身につけ、物事を批判的（多面的）かつ総合的に捉える力を育成する。

2 本校SGHのカリキュラム（科目）開発

- ・**グローバル課題研究（6単位）**
「国際開発、ビジネス、環境・エネルギー、医療福祉」
の4領域から研究領域を選択し、個人研究を行う
- ・**ロジカルシンキング（3単位）**
論理的思考力の向上ならびに日本語での発信力の向上
- ・**クリティカルライティング（6単位）**
物事を多面的に考え、英語でライティングを行う
- ・**イングリッシュプレゼンテーション（6単位）**
英語での発信力の向上

中部大学春日丘高等学校

3 「グローバル課題研究」3年間カリキュラム



中部大学春日丘高等学校

4 日本企業の進出

【日本企業の進出国 Top10】

No	国名	件数	No	国名	件数
1	中国	6091 件(24.2%)	6	台湾	989 件(3.9%)
2	アメリカ	2276 件(13.4%)	7	●インドネシア	862 件(3.4%)
3	●タイ	1853 件(7.4%)	8	イギリス	847 件(3.4%)
4	香港	1220 件(4.6%)	9	●マレーシア	829 件(3.3%)
5	●シンガポール	1111 件(4.4%)	10	韓国	815 件(3.2%)

12位:ベトナム 812 件(2.7%) 43位:カンボジア 35 件(0.1%) 圏外:ミャンマー

【新規海外進出国 Top5】

	2008	2009	2010	2011	2012(推定)
1	中国	中国	中国	中国	中国
2	アメリカ	アメリカ	インド	インド	●インドネシア
3	タイ	ベトナム	アメリカ	タイ	●タイ
4	インド	タイ	タイ	アメリカ	アメリカ
5	ベトナム	インド	シンガポール	インドネシア	●ベトナム

出所:東洋経済「海外進出企業総覧 2013年版」

5 愛知県企業のアセアン進出

愛知県産業労働部産業立地通商課 (2012年 単位:企業数)

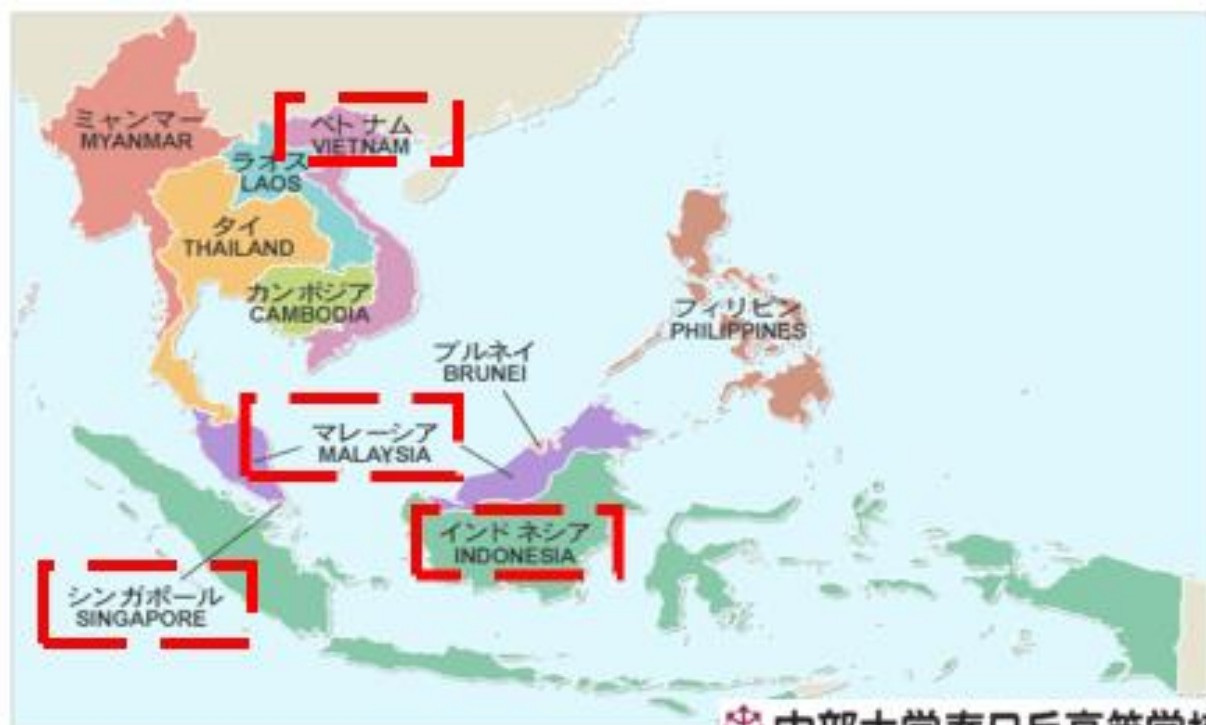
・ <u>インドネシア</u>	117
・カンボジア	2
・ <u>シンガポール</u>	58
・タイ	235
・フィリピン	33
・ <u>ベトナム</u>	85
・マレーシア	51
・ミャンマー	5

インドネシアで操業する
トヨタ紡織の工場を見学
する大学生



6

アセアン(ASEAN): 東南アジア諸国連合(10か国) Association of South-East Asian Nations



中部大学春日丘高等学校

7 インドネシア研修(8月)・ベトナム研修(3月)



中部大学春日丘高等学校

8 平成28年度 インドネシア研修(5泊6日)10名参加

■ 研修行程 <予定>

日程	行程
8/8(月)	中部国際空港 羽田経由 ジャカルタ着
8/9(火)	じゃかるた新聞社訪問 日本大使館表参道訪問 モナス(独立記念塔)・モスク見学 清水建設訪問(地下鉄工事見学) KAIKOUKAIクリニック訪問
8/10(水)	南タンゲラン国立第2高校訪問・交流 ショッピングモール(イオン)見学
8/11(木)	JICAプロジェクトサイト(南ジャカルタ)訪問 市民病院 訪問 JICAインドネシア訪問 筑波大学付属桜葉高校との意見交換会
8/12(金)	プナプール高校訪問・交流 日本企業訪問
8/13(土)	ジャカルタ発 成田経由 中部国際空港着

日系企業への訪問

インドネシアには多くの企業が進出しています。現地で活躍する日本人にもお話を聞きます。

- *じゃかるた新聞
インドネシアに住む日本人向けに新聞を発行しています。中部大学の卒業生も勤めています。
- *清水建設
ジャカルタの地下鉄工事を請け負っています。実際に地下鉄の工事現場を見学させていただきます。
- *KAIKOUKAIクリニック
名古屋にある旅行会クリニックがジャカルタに進出しています。インドネシアと日本の医療事情の違いを教えてください。

国際機関への訪問

日本大使館、JICAインドネシア事務所に表敬訪問をします。本研修では一般の旅行では行くことができない場所に行くことができます。日本とインドネシアのつながりや、日本の国際協力について学びます。

また、JICAが環境プロジェクトを行っている村を訪問し、現地の人々の生活に触れ、声を聞くことで、国際協力の成果や今後の課題を考えます。

現地高校への訪問

南タンゲラン国立第2高校、プナプール高校へ訪問します。2校とも大変優秀な高校であり、日本が好きで日本語の勉強をしている生徒も多くいます。今回の訪問では、授業に参加させていただいたり、お互いの国を知るためにプレゼンテーションをしあったり、意見交換をする予定です。参加生徒たちは交流に向けて現在準備を進めています。



9 平成28年度 ベトナム研修(5泊6日)19名参加

日程	行程
3/26(日)	中部国際空港 ↓ ハノイ(ノイバイ空港)着
3/27(月)	市街地フィールドワーク 日本大使館 VJCC(ベトナム日本人材協力センター)
3/28(火)	パナソニックリスピーア 女性博物館
3/29(水)	ハノイ国家大学外国語学部付属高校 歴史博物館 現地で働く日本人(前田さん)による講話
3/30(木)	WHO・UNICEF訪問 旧市街地フィールドワーク ハノイ(ノイバイ空港)発
3/31(金)	中部国際空港着



ごみ分別をお手伝い

中部大春日丘高校生10人

文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(S-GH)に指定された中部大学春日丘高校(愛知県春日井市)2年の生徒10人が来日し、11日、南ジャカルタで「ごみバンク」活動をしている地区を訪れ、ごみの分別収集を地元の人たちと行った。

生徒らはインドネシアではごみが多い、ポイ捨てが多いことなどを事前に日本で調査してきたが、ごみを集めることで豊に成りお金ももらえる「ごみバンク」システムが地域で稼働していることを学んだ。

この日は「ごみバンク」活動を行っている地区のラ



ごみの分別作業を手伝う生徒ら(島野真琴さん提供)

ビヤニさん宅を訪れ、ベトナムのトポトルはラベルをはがすと高く売れる、と聞いて全員で作業に取り組んだ。一行を引率する春日丘高校の星野真琴校長補佐(49)は「現場ではドブネズミが出たり、みんなびっくりしていたが、ごみバンクが美化活動にもつながっていることを知り、改めて現場に行くことの重要性を理解したと思う」と話す。

一行は8日に来日、地下鉄工事現場や病院を訪問したほか、地元の高校生と文化交流を行い、13日に帰国する。(田島徳弘)



地域医療施設を訪問



日本大使館で現地学習

- ・テーマ1 「ジャカルタの上下水道に対する考察」
- ・テーマ2 「シーレーン(資源輸入海路)に関する日本とインドネシアの比較考察」



12

南タンゲラン国立第2高校より20名が来校 (2泊3日のホームステイプログラム)



Welcome!! 8月の研修に
参加した生徒がお出迎え



中部大学メディアセンターで
ネットTVに出演



多くがイスラム教徒
ランチはハラールのお弁当



毎日5回のお祈り
日本にいても行います



日本文化を体験しました



涙と笑顔のお別れ。国は違っても同じ高校生。
今後も交流を続けていきましょう



授業にも参加しました



部活動の発表
(少林寺・吹奏楽・チア)

日本、愛知県のことを知ってもらおう！ (産業、インフラ、娯楽、食、流行、校則)



プナブル・ジャカルタ高校(インドネシア)との交流 (Academic Cooperation : 学術協力へ) MOUを締結



プナブル第1高等学校にて



生徒 & 教師

MEMORANDUM OF UNDERSTANDING

regarding

ACADEMIC COOPERATION

between

SMAK 1 PENABUR JAKARTA, REPUBLIC OF INDONESIA

and

CHUBU UNIVERSITY HARUHIGAOKA HIGH SCHOOL, JAPAN

In accordance with their mutual interest in a program of cooperation and exchange, SMAK 1 PENABUR and Haruhigaoka High School enter into this Memorandum of Understanding (MOU) with regard to educational and cultural cooperation.

Both schools have reached accord on the following areas of cooperation, commencing in SMAK 1 PENABUR, subject to mutual consent:

1. Participation in "Buddy Program": exchange of letters and works.
2. Exchange of learning and culture through video conferencing.
3. Student exchange program: the short-term academic exchange visits.

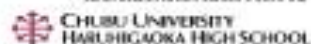
The terms of such mutual assistance and funding for any specific program or activity shall be mutually discussed and agreed upon in writing by the principal of these schools before the initiation of that program or activity.

This MOU will take effect when it has been signed by the principal of SMAK 1 PENABUR and the principal of Haruhigaoka High School, and it will be continued to be valid unless it is terminated by written notice of any signatory party.

6 December, 2016

Principal

Mitsuki Futamura
CHUBU UNIVERSITY
HARUHIGAOKA HIGH SCHOOL



CHUBU UNIVERSITY
HARUHIGAOKA HIGH SCHOOL

Principal

Mrs. Endang Setyaningsih
SMAK 1 PENABUR Jakarta



東アジア、東南アジアからの大学院留学生14名との 意見交換(名古屋大学、愛知県立大学、南山大学など)



個人研究テーマ(2年国際コース)

研究領域	個別研究テーマ	内容 論文に取り組んだ感想など
国際開発	ミャンマーの子供の薬物乱用	ミャンマーの子供の薬物乱用と貧困理由について調べている。ミャンマーの経済格差が深く関連している。
	フィリピンのウエストピッカーの減少	フィリピンは経済的に発展しているがその裏で劣悪な環境で生活している人もいる。
	ジャカルタの交通渋滞	ジャカルタは昔はそれほど発展してはいなかったが1970年代から石油などの天然資源をもとに発展していった。その結果車を所有する人々が増え、交通渋滞が大きな問題となっている。
	ベトナムのストリートチルドレン問題	ベトナムのストリートチルドレンが抱える問題。政府の対応にも問題があり、根本的な原因と解決策を探る。
	教育にゲームを導入することに関して	ゲームを教育に取り入れ、授業の中で使いながら教育成果をあげていくためにはどうしたらいいか。まずはゲームの概念を考えることが必要。
	東ティモールの識字率	東南アジアでもっとも識字率が低い東ティモールはインドネシアからの独立運動で学校が破壊され教員もいなくなるなどの結果から識字率低下へとつながった。どうしたら識字率が改善されるかを解明していきたい。識字率という言葉自体あまり日本では聞きなれない言葉なので興味深く研究を進められた。
	インドネシアのごみ問題とそれによる環境問題	インドネシア国内の問題として、環境問題がよく取沙汰されるが、その中でもゴミの処理というのは大きな問題であると思い、ゴミ処理に焦点を当てた。インドネシアにはいくつもの島があるが、島によってはゴミ問題を解決しているところがある。そのような島々の解決法を他の島でも使えるようにするにはどのようにするか考察していく。
	インドネシア・ジャカルタの水質改善	現在インドネシアは交通渋滞緩和におおくの資金を投入している。そのため上下水道のインフラに手が回らない。また、インドネシア人はきれいな水を使うことに対する意識が低いため、川にごみを捨てたりする習慣がある。私はこの意識改革と水質が改善されるための方法を考えている。この研究を始めたことで、今まで知らなかった情報が現地にも行ったことで詳しく知れた。日本も過去に経験した公害や環境汚染と似ているのでなおさらこの問題に興味を持った。
ラオスの農村部の就学前の子供たちが共通語を話せるようにする	ラオスは少数民族が多数存在し、言語が多数存在する。そのため小学校設立が難しいと言われていました。どのようにしたら教育を浸透させることができるかを考えていきました。このような問題を自分のトピックにするのは非常に難しかったです。	
環境・エネルギー	インドネシアにおける野焼きの歴史的経緯	温室効果ガスの増加による地球温暖化やヘイズと呼ばれる煙害など、インドネシアには大気に関するいくつかの問題がある。特にインドネシアにおける野焼きに注目し、野焼きと環境問題との関連をまとめた上で、どのような対策が取れるのか考察する。
	インドネシアの大気汚染	インドネシアの大気汚染の原因とは主に、バイクや自動車といった移動発生源によるものである。この解決策を考えたとき、先進諸国が有する高度な環境対策技術をインドネシアに輸出することが対策として考えられるが、実際には技術を輸出することは、困難であることを論証する。
	ダンスによる健康向上	幼少の頃からクラシックバレエに親しんできたのでバレエの普及を考えている。バレエを含むダンスの文化的な意義や体育的な有効性について考察する。
	インドネシアのゴミ処理	インドネシアのゴミ処理の現状やゴミ問題の発生の経緯を明らかにし改善案を提言することを試みる。同国のゴミ問題は埋め立て場の不足などのゴミ処理上の問題、土壌汚染などの公害としての問題、資源のリサイクル問題など多様な諸問題を内包している。
	インドネシアの水質汚染	現在のインドネシアの水質汚染の状況は良くなってきているが、まだ深刻な地域は多い。実際にインドネシアに向いた現地調査をもとに、日本における水質汚染対策の歴史と比較して、効果的な水質保全対策を考えてみたい。
	日本のシカ問題	日本のシカの個体数増加により森林や農地に様々な形で被害が出ている。シカの捕食者が不在であることが原因である。増えすぎた個体を減らすためにジビエ料理の可能性を探る。
	インドネシアの農村部の水質汚濁	インドネシアの水質に関する調査を行った。ゴミに起因する水質汚染や工業・生活排水の問題など様々な水に関する問題の中で特に農村部の水道管に関するインフラ設備についてリサーチを行った。現地では水道管の老朽化が原因の水質汚濁が問題になっている。
	タイの保険制度	タイの保険は比較的早期に作られたにも関わらず、3つの制度が併存しているために、提供されるサービスや受診できる病院の種類数など、隔たりがあり、この隔たりをいかになくすかを考察する。
医療・福祉	ストリートチルドレンについて	貧困と教育の関わりにおいて、ストリート・チルドレンの存在が浮かび上がったことで、特にベトナムに焦点をあてて、直接現地で話を聞いたインドネシアのことも織り交ぜながら考察する。
	インドネシアの児童福祉	インドネシアの児童福祉をより良くするために、児童施設の拡充やソーシャルワーカーの育成プログラムをどのようにすべきなのか、法制度の整備などについて考察する。
	世界で最も乳児死亡率の高い国シエラレオネの乳児死亡率を下げるには	統計上世界一悪い医療水準をもつシエラレオネについて、その原因に戦争や女性の社会的地位の低さなどがあると仮定し、いかに乳児死亡率を下げるかを、考察する。
	インドネシアの食中毒	現在、インドネシアの平均寿命は70.8歳(日本は83.3歳)であり、インドネシアの平均寿命が短い理由に食生活や環境の悪さなどの不健康要素があると仮定し、その一つである食中毒をいかに減らすかを考察する。
	教育における平等	すべての人間が持っている「教育を受ける権利」、それを実現するために必要なことは何か、インドネシアで聞いたことも絡めながら、特にパキスタンに焦点をあてて考察する。
	児童労働	十分に教育を受けられない子供たちについて、その原因の一つに児童労働があると考え、主にインドネシアに焦点を当てて、児童労働の現状、彼らの支援には何が必要か、私たちが協力できることは何かを考察する。
	アフリカでの飢餓問題	エチオピアにあるコレム救助センターに避難してきている世帯のほとんどが、この一年に子供を亡くした経験を持つということから、その原因の一つである飢餓問題をいかに解決するかを考察する。
	医療技術協力・援助	発展途上国の人々は彼ら自身では解決できない多くの問題を抱えている。特にカンボジアに焦点をあて、その問題の一つとして医療の技術発展の滞りについて、日本の協力の在り方について考察する。
国際ビジネス	フェアトレードの課題ーフェアトレードライセンスー	フェアトレード商品の流通・販売に必要なフェアトレードライセンスの現状と問題点を探る。
	フェアトレードの良い点・悪い点	フェアトレードの現状と問題点を調査し、解決策について考察する。
	日本企業のインドネシア進出	日本の企業が海外進出先にインドネシアを選ぶ利点について考察する。
	ODAの問題点	アジア向けの支援が多い日本のODAであるが、アフリカへの支援を増やすべきである。
	「ブリクラ」をインドネシアへ	日本で人気商品として定着した「ブリクラ」をインドネシアへ輸出するメリットについて考察する。
	外国人労働者に厳しい現実	少子高齢化が進み、労働力人口の減少が予測される日本では外国人受け入れ体制をいかに整備すべきか考察する。
	日本におけるエスニックビジネスの展開	日本のエスニックビジネスの現状と問題点を調査し、解決策を探る。

15 海外研修 約120名(シンガポール)



中部大学春日丘高等学校

16 海外研修 約40名(オーストラリア)



中部大学春日丘高等学校

17 カナダ姉妹校



中部大学春日丘高等学校

18 環太平洋ミーティングを目指して



環太平洋提携高校マップ

詳しい情報は 春日丘HP(ホームページ)のSGHバナーをクリックしてください。



赤色

⇒ SGHのページへ



黒色

⇒ SGH通信へ

～取組みの詳細が分かります

⌘ 中部大学春日丘高等学校